

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成25年8月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

## 第39回日本診療情報管理学会学術大会開催にあたって

高橋 正彦

第39回日本診療情報管理学会学術大会 学術大会長  
茨城西南医療センター病院 名誉院長

第39回日本診療情報管理学会学術大会を、平成25年9月5日、6日の2日間、つくば国際会議場で開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

大会のテーマは、「医療連携と診療情報管理」としました。地域住民の医療のためには、病院内外の医療全般にわたる連携と連帯が必要です。診療情報管理士の方々は、診療情報を介して、医師・看護師・薬剤師・検査技師、その他すべての医療従事者とのコミュニケーションを保てる立場にいます。そして、今後、医療の連携・連帯が強化されるなかで、診療情報の利活用を始め、診療情報管理士の義務や役割はさらに拡大することでしょう。診療情報管理士の皆様と一緒に、医療連携と診療情報管理について考えていきたいと思えます。

特別講演1では、筑波大学医学部内科教授で附属病院長の五十嵐徹也先生に「人と情報の連携が織りなす地域医療」をお願いしました。特別講演2では、日本診療情報管理学会理事の大道久先生に「診療情報の進化とその活用に向けた課題」をお願いしました。教育講演では、日本診療情報管理学会理事長の大井利夫先生に「死亡診断書精度向上への取り組み」をお話ししていただきます。

シンポジウムの演題として、「DPCと診療情報管理」、「チーム医療と診療情報管理」、「災害時を想定した診療録」などを予定しました。

開催地のつくば市は、茨城県の南部に位置し、シンボルの筑波山は「西の富士、東の筑波」と称され、万葉集にも詠われた古い歴史のある山です。その美しさから日本名山の一つに数えられています。また、つくば市は15,000人の科学者と、100カ国を超える世界各地から研究者が集まる化学研究の街でもあります。このように、つくば市は自然と科学が融合する、魅力ある街です。

学術大会は、今回で39回目になりますが、茨城県での開催は今回が初めてです。地元の診療情報管理士や学校関係の方々にとっても、長年にわたり待ち望んだ大会と思えます。

多くの方々のご参加を心からお待ちしております。

